# ガンとコロナと
# 老化～寿命のしくみについて

■ガンは血中に含まれるミネラル＋水素の不足が続くと発生します。不足を補い適量値に高めてやると場所を選ばず全てが綺麗に消え去ります。しかしながらこれらの不足を食生活で賄うのは容易な事では有りません。このために開発したのがミネラル＋水素の働きを強化した高機能ミネラル水【商品名：WMW＝ワイズ(賢明な)ミネラルウォーター】です。
そもそもミネラル＋水素の役割は体熱を利用して水素の核破壊を誘発し①そのエネルギーで新しい細胞を増やしたり②劣化した細胞を消し去り新しい細胞に入れ換える事です。
このためミネラル＋水素の不足が続くと消え去るべき劣化細胞が生き残り意味不明の遺伝子を持ったガン細胞が生まれます。・・・ガンの詳細は応用編をご覧下さい。

■生物の細胞には一本の染色体から成る原核細胞と複数本の染色体から成る真核細胞とが有ります。コロナ菌などの微小ウイルスは原核細胞の一種で、棘を持ち蚊の様に餌に刺しては毒を吐き血を吸い繁殖を繰り返します。微小菌はミネラル＋水素に対する抵抗力が格段に弱いためこれらの不足者を狙って襲います。更にコロナワクチンは微小菌にとっては進化増殖を助ける有益な働きをしますが、人間にとっては健康を害し寿命を縮めて行く有害な働きをします。特に脳と目にはより深刻な影響をもたらします。・・・コロナ菌の詳細は応用編をご覧下さい。

■長生きする人しない人・・・長寿世界ベスト３（２０２２年現在）
１位はフランス女性１２２歳１１６日・２位は日本女性１１９歳１０７日・３位はアメリカ女性の１１９歳９７日。・・・以下１１８歳～１１５歳が続きます。
世界の長寿記録に名を残すには１１５歳への到達が必要です。・・・詳細は世界長寿者ランキングをご覧下さい。
人はどの様に年を取り老いて行くのか？なぜ若さ・健康・寿命に個人差が生れるのか？その仕組みについて【元素原子と生物生命の関係についての研究】より、かいつまんでご説明致します。是非１２２歳を超え１５０歳を目指して下さい。

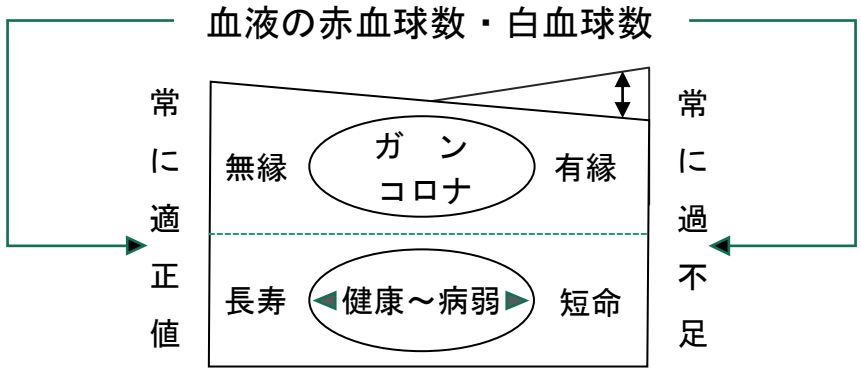
# 目　次

Ｐ１・・・表　紙
Ｐ２・・・ページガイド
Ｐ３・・・基本編・・・地球に生きる
Ｐ３・・・人の若さ・健康・寿命は次の３条件の満足度で決まって行く
Ｐ４・・・高機能ミネラル水【WMW：ワイズ・ミネラル・ウォーター】の紹介
Ｐ５・・・■WMWと若さ～健康～寿命の関係・・・
Ｐ６・・・誕生～成長～老化～寿命の繰り返しは万物の宿命
Ｐ７・・・地球の公転・四季と微小ウイルスについて
Ｐ８・・・地球温暖化の考察
Ｐ９・・・水素について
Ｐ９・・・若さ・健康・寿命をより長く維持する為の３条件について
Ｐ９・・・1　活動に見合ったミネラル（主に金属元素）の摂取
Ｐ10・・・2　腹式呼吸をする：呼吸には胸式と腹式とが有り健康寿命に・・
Ｐ11・・・3　第二の心臓と言われる「ふくらはぎ＋足」の健康維持
Ｐ11・・・赤血球の役割
Ｐ11・・・白血球の一生
Ｐ12・・・応用編・・・ガンとコロナについて
Ｐ12・・・遺伝子について
Ｐ12・・・ガン発症のしくみ・・・ガンば簡単に消し去る事が出来る
Ｐ12・・・熟成とは
Ｐ13・・・原核細胞とコロナ菌について
Ｐ13・・・劇薬コロナワクチンの怖さ
Ｐ14・・・朝～昼～晩の食事間隔は６時間を超え無い事
Ｐ15・・・日本には優れた天然ミネラル水が有る
Ｐ15・・・簡単な自己紹介
Ｐ16・・・自身の心臓治療時の血液値
Ｐ17・・・自身の心臓治療について
Ｐ18・・・参考写真１
Ｐ19・・・参考写真２
Ｐ20・・・参考写真３

## 基本編・・・地球に生きる

### １．人の若さ・健康・寿命は次の３条件の満足度で決まって行く

1　活動に見合ったミネラル（主に血を作る金属元素）の摂取。




地球には１００種類を超える元素原子が有り、人の体もこれら数十種類から維持されています。その中でも若さ・健康・寿命に深く関与するのがミネラル＋水素の摂取量です。これらを支える六大食品に肉・魚・野菜・果物・生卵・牛乳が有ります。しかし人類は体が抱えるミネラル＋水素の測定手段を持っていません。そこでこれらが主力成分と成る赤血球数と白血球数を知る事で摂取量の満足度と体の健康度が予測できます。

2　腹式呼吸をする:呼吸には胸式と腹式とが有る。

3　第二の心臓と言われる「ふくらはぎ＋足」の健康維持。

4　更に当開発の高機能ミネラル水＝商品名：WMW（ワイズ・ミネラル・ウォーター）を日々１ｍｌ（１ＣＣ）×２回を継続飲用するだけでガンの発生場所に関わらず全てを一網打尽に消し去ったり、細胞の新陳代謝を高めて老化の進行を遅らせ最長３０年の寿命延命も可能に成ります。但しコロナワクチンの接種者に於いては必ずしもこの限りでは有りません。なぜならコロナワクチンは高分子薬液のため接種の度に多数の毛細血管に詰まって壊死閉塞させ血液の循環力を低下させ老化を速めて行きます。その影響は頭蓋骨で囲まれた脳により強く現われ思考力・記憶力や視力の低下を招いては健康を脅かして行きます。残念ながら脳の衰えには有益な回復手段が無いため必ずしも額面通りの効果は望めません。この事を御理解下さい。

## ２．高機能ミネラル水【WMW：ワイズ・ミネラル・ウォーター】の紹介

当ミネラル水は鉄・アルミニウム・ナトリウム・マグネシウム・リン・カリウム・カルシウム・チタン・珪素・マンガンなど２０数種類の元素を含む鉱石を溶かして作ります。これら元素類を毛細血管が吸収し易いよう１５年以上熟成し、更に核破壊を誘発し細胞や血を産み出す為の水素を加え❶健康細胞で有れば活力強化を図り❷逆にガンやコロナ菌などの不要細胞で有れば迅速正確に消し去るよう濃度調整をします。この様に細胞の分別機能を持たせた高機能ミネラル水をワイズ(賢明な)ミネラルウォーターと称しています。日々飲用する事で赤血球の生産力を高め(1L当り約５０万個)健康寿命を延ばします。

◇商品は「１ｍｌ×１日２回×４ヶ月分＝２５０ｍｌ」をお届け致します。価格は販売店にお尋ね下さい。主たる使用はガンです。ガン細胞は健康細胞の劣化から生まれるため核破壊に対する抵抗力が健康細胞より弱いため、この弱点を突く事で健康細胞の活動を助けながらガンを一網打尽に消し去って行くため効果の確認が容易だからです。ちなみに飲用４ヶ月後の赤血球・白血球の数値があなたのガン再発防止の目安と成ります。

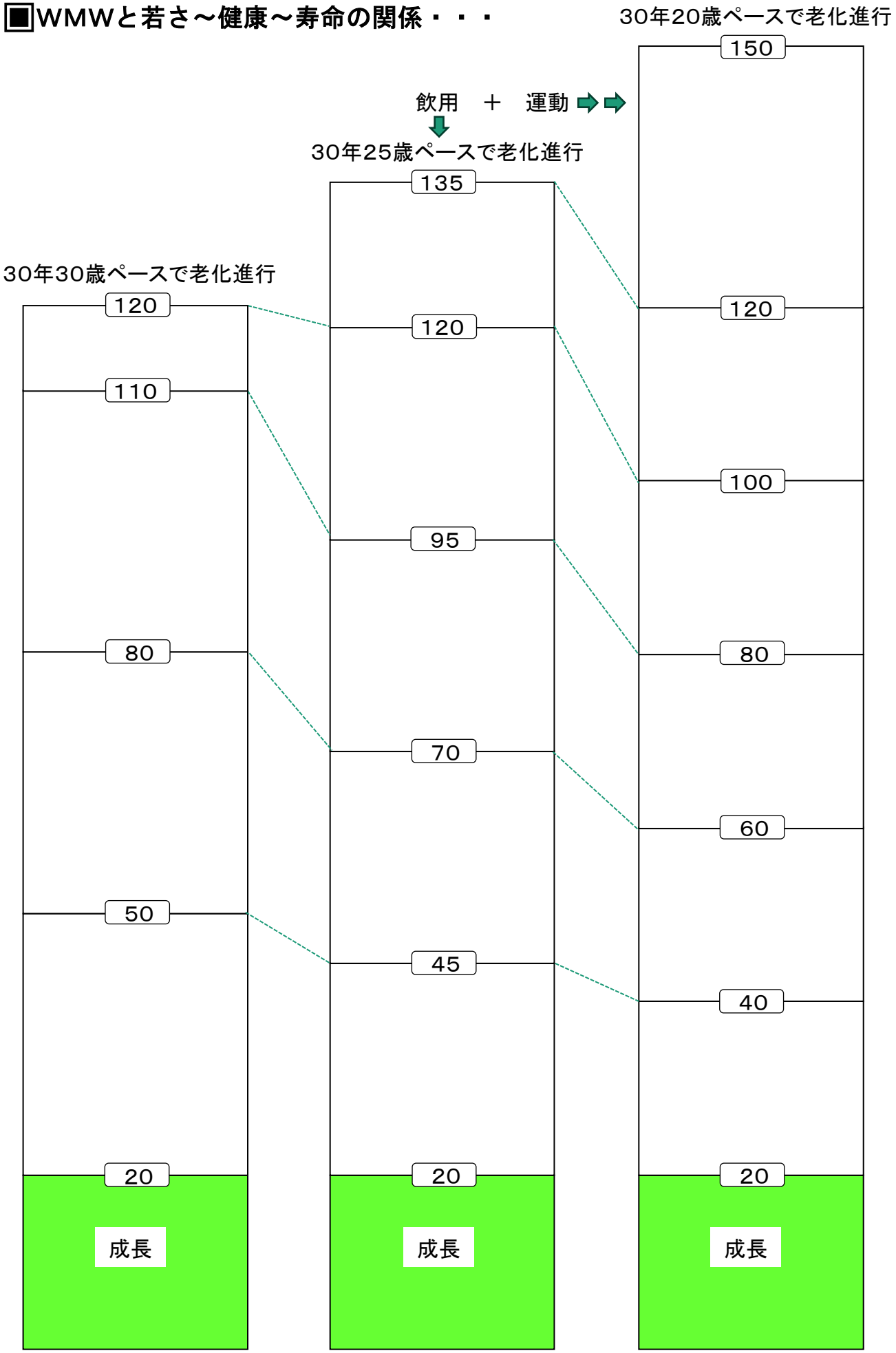
◇特許について・・・特許申請しておりません。そもそも元素類は地球の所有物で有って個人の発見や開発物では無いので特許の対象物には成ら無いしその必要も無いからです。

### ▣当ミネラル水の飲用方法と連絡先電話番号

①コップに水５０ｍｌ～１００ｍｌを入れます。
②当ミネラル水ワンプッシュ(１ｍｌ)を入れます。
③これを１日２回・朝夕の食前（又は食後）に飲みます。
④ガンの大小に関係無く１ヶ月～２ヶ月で綺麗に消え去ります。
⑤飲用４ヶ月後の赤血球数が４８０万あれば再発は有りません。
⑥これ以下の時は２年～３年後に再発の危険が有ります。
⑦継続飲用で再発は完全阻止が可能と成ります。
⑧妊娠中のガンには必需品。母子ともに健康アップが図れます。
⑨生活スタイルを変える必要は有りません。現状を維持します。
⑩飲用条件は赤血球３５０万個以上で臓器手術の過去が無い事。

ご注文・ご質問は【０８０−９９７０−０８０８】担当:樋口までお願いします。
なおご愛用にはトラブルを避けるため白血球(ＷＢＣ)と赤血球(ＲＢＣ)の診断書をご用意下さい。よろしくお願い致します。

## ■WMWと若さ～健康～寿命の関係・・・



## ３．誕生～成長～老化～寿命の繰り返しは万物の宿命

惑星も人間も全ての万物は誕生～成長～老化～寿命の流れを繰り返します。なぜなら万物を作り出す元素原子にも寿命が有るからです。

①万物は元素原子の集まりから成ります。

②全ての元素原子は陽子・中性子・電子の集まりから成ります。

③陽子・中性子・電子は更に素粒子の集まりから成ります。

④素粒子の集まりは超低温＋高圧で安定して存在しますが温度上昇に連れて分散率が高まります。これらの分散は❶最小の電子（陽子の１８００分の１）から始まり❷より小なさな原子から陽子の中性子化が進み❸やがて原子自体が消滅します。

⑤こうした熱を生み出し素粒子分散を引き起こしているのが水素が他の原子核内に侵入し核をぶち壊す『核破壊』と呼ぶ活動です。このため万物には必ず経年劣化の定めが有りいずれは全てが消え去り消滅します。

⑥人の場合はこうした流れに沿って１７歳～１８歳をピークに成長が止まり以後は順次に日々休む事なく老化が進んで行きます。

⑦こうした経年劣化が比較的に早いのが細動静脈から枝分れの毛細血管出入口です。

❶血液は心臓～動脈～細動脈～動脈毛細血管出口を経て組織液に届きます。使い残した血液や組織液は静脈毛細血管入口～細静脈～静脈～心臓へと戻ります。

❷当然ながら微細径の毛細血管はそれだけ摩耗が速く耐圧力も落ちて行くため、やがて圧力に押しつぶされ狭窄壊死して行きます。

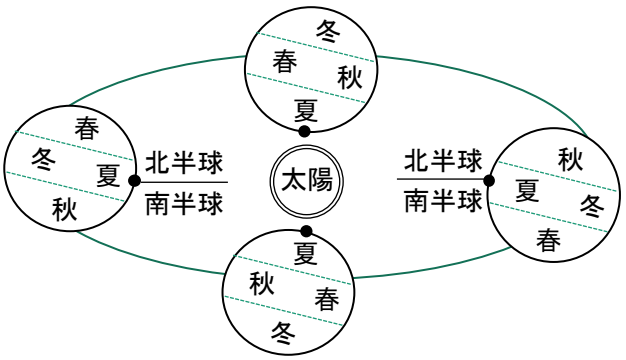
❸通常こうした閉塞壊死した血管は閉塞上部から新たな毛細血管（側副血行路）が延びてカバーしますが、その力の衰え併せ閉塞数が次第に増えて行きます。その数に応じて血液の流れが悪く成り、血液の生産力の低下に併せ老いて行きます。

❹一般的に毛細血管総数は女性より体形や活動力が勝る男性の方がやや多く、それだけ生涯に抱える壊死閉塞の進行も数もより速く多く成ります。これが男女の平均寿命の違いとなって現われます。

⑧これらの進行を止める事は出来ませんが遅らせる事は出来ます。この対抗手段の上手・下手が人それぞれの若さ・健康・寿命に深く関わって来ます。

## ４．地球の公転・四季と微小ウイルスについて

1　地球は約２３度の傾斜角度を持った自転を繰り返しながら楕円形の公転をするために何れの国でも３ヶ月周期で春夏秋冬の気候変化が訪れます。更に夏・冬の表裏の間には夏の熱い空気が蒸発するとその後に冬の冷たい空気が流れ込む事で強い上昇下降の周回気流と多方向の風が生まれます。



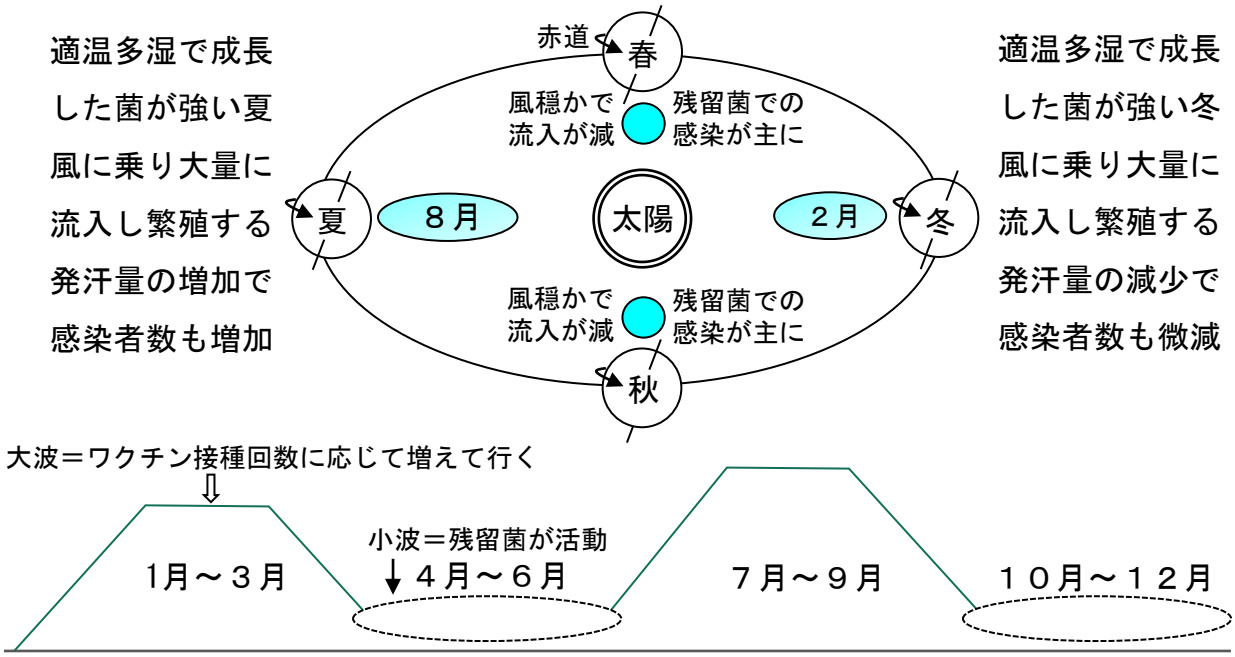

2　また生物の細胞には染色体が一本の原核細胞と複数本の真核細胞とが有りコロナ菌などの微小ウイルスはキノコ菌と同じ原核細胞で夏冬の大きな温度差から引き起こる周回気流に導かれ潤い豊かな適温多湿地帯を駆け巡りビルなどの風の吹き溜まりに集まり大小の集団を形成して餌を襲い誕生～成長～繁殖～死の一生を終えます。寿命は約２ヶ月、活動期間は早生まれ～遅生まれを合わせ概ね３ヶ月で次の様に推移します。

①菌は呼吸によって肺に侵入しますが天敵と成る赤血球数（正確には血液中のミネラル＋水素の量）が十分に満たされていると血管圧に押されて侵入が阻止されます。このため血圧正常者や高血圧者（免疫や抗体圧の異常圧者を含む）は感染リスクが激減します。

②逆に赤血球数が少なく低血圧状態になると細胞間の隙間が広がるため呼吸器官に沢山の菌が侵入し、細胞の組織液（血）を吸い繁殖を繰り返します。

③更に繁殖したての子菌は呼吸によって体外に排出されますが、煙より軽い子菌の多くは上昇気流に乗って（乗遅れが残る）適温多湿地帯の新たな繁殖地へと向かいます。

④このためコロナなどの微小ウイルス病はいずれの国でも夏と冬の６ヶ月周期て大量発生し、春と秋には減少します。日本では次の様に変化します。



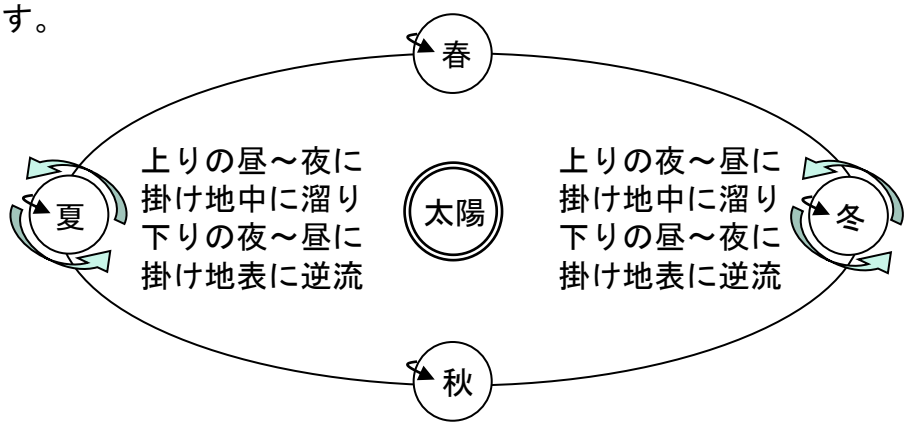
## ５．地球温暖化の考察

地球温暖化の原因は生涯に於いて地球最多量の水を使用する樹木の過剰伐採による水の増え過ぎ＋水の蒸発を妨げる舗装道路やコンクリート建造物の増え過ぎと推定されます。この為に増加した水が海や地下資源採取後の地下空洞に流れ込んで溜まり、やがて地球温度を次第に高めて行きます。そのしくみは次の様に成ります。

①地球に存在する水の流れは傾斜角度を持った自転で起こる地表位置の高低差の変化に合わせて流れが変わります。

❶例えば地球が太陽と向き合う時間が長い夏期では夜～昼の下りに掛けて海や地下空洞に溜った水が地表に向かって逆流し、昼～夜の上りに掛けては海や地下空洞へ流れ込んで溜まります。

❷逆に地球が太陽と向き合う時間が短い冬期では夜～昼の上りに掛けて海や地下空洞へ流れ込んで溜まり、昼～夜の下りに掛けては海や地下空洞に溜った水が地表に向かって逆流します。




②地殻内流動の摩擦熱で温められた水が地表に戻り、更に太陽熱が加わると水温が更に高まり水を蒸発させて熱や雨を産み出します。これが有るから地下も地表も共に潤いますが、度を越えた樹木の過剰伐採で増え過ぎた水に加え舗装道路やコンクリート建造物が水の蒸発を妨げるため地上温度が年々高まって行きます。

③特に日本の夏期前後は日照力が強くて長く且つ四方が海に囲まれているため高温多湿の日が続きます。肺が高温多湿の空気を吸うと血液の水分蒸発量が増えて行きます。このため血液の粘りが増し流れが悪く成ると「だるい」が起こり、度が過ぎると熱中症へ向かいます。更に蒸発した水は再び地上に戻るため常に大雨の危険も待ち受けます。

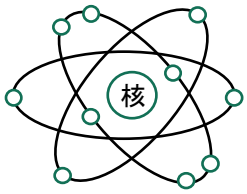
④対して冬期前後は日照力も弱くて短いため、時には強風豪雪も起こりますが平均的には暖冬レベルで推移します。

⑤人間は樹木伐採も地下資源採取も止める事は出来ないでしょうから更なる地球温暖化の上昇傾向は永遠に続く事は明らかです。

⑥ちなみに恐竜の滅亡もこのメカニズムによって緩やかな気温上昇が進み、皮膚が分厚く新陳代謝が劣る事で熱中症に陥り、涼を求めて北上しながら衰退したと思われます。

## ６．水素について

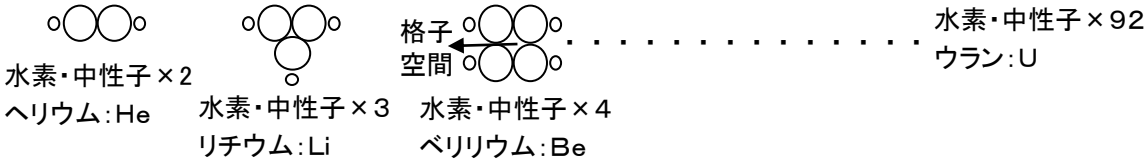
### 1　電子について




電子は＋・－の磁界を持ち、核の周囲を自転・公転しながら近づく・離れるを繰り返しながら周回します。簡単に言えば核が太陽で惑星が電子です。その役割は他の原子の侵入を身を挺して衝突破壊し核を守る事です。

### 2　水素原子について

水素＝陽子１個・自由電子１個の最小原子【◯○】




**①水素は他にも重水素（デューテリウム:Ｄ:水素＋中性子１個）と三重水素（トリチウム:Ｔ:水素＋中性子２個）の２種類の同位体が有ります。水素同様に強力な核破壊原子として暴れます。共に水素爆弾に使用されています。**

**②水素の核破壊について**

水素は小さな原子です。仲間との接近衝突で生じる反発力で他の原子格子内にも容易に入り込みます。こうして水素が沢山入り込むと互いの摩擦熱で大きく膨らみ核の膨張破裂が起こります。これが核破壊です。核破壊から生じた熱と圧力で核融合や原子結合が起こり万物が産み出されます。動植物の細胞や活動エネルギーも水素による核破壊から生まれます。例えば水素と酸素が化合すると爆発的な燃焼と共に副産物として水素と酸素の化合物＝水が産まれます。当然、大きな元素原子ほど破壊エネルギーの生産力も増します。原子力発電は身近な核破壊ですが水素は使用しません。ウランに高熱を加えて中性子を膨張破裂させて核を破壊します。使用ウラン２３５や２３８は陽子が９２個で残りは中性子です。動植物細胞は高熱に弱いため必ず水素を使用します。

## ７．若さ・健康・寿命をより長く維持する為の３条件について

### 1　活動に見合ったミネラル（主に金属元素）の摂取

生物は種を問わずに水素の核破壊を活用して生命維持を図りますが、いずれの細胞にも核破壊に対する許容限界値が有ります。限界値は細胞が大きく抱える遺伝子数が多いほど高く成るので人も動物もこの違いの活用で新旧細胞を入替えます。

①まず活動力が低下した細胞は構成原子の粒子数が減ります。この隙間から水素が核内に押入り核を破壊します。この破壊エネルギーによって細胞が消え去り、その後にすぐ上の細胞が子細胞を作って分列し新旧を入替えます。この働きの活用でガンもコロナ菌も簡単に消し去る事が出来ます。

②限界値は赤血球数（血をつくる鉄などのミネラル類と水素・炭素・窒素・酸素などの混合物。白血球は血液循環でミネラル類が磨り減った赤血球が核破壊によって小元素類に分散した血の残骸物から成る塊。白血球が多く赤血球が少ないはミネラルの摂取不足。白血球・赤血球が共に少ないは老人体）を知る事で予測できます。

③人の場合は血液１Ｌ（リットル）に赤血球４８０万個～６００万個・白血球４８００個～６５００個で適正血圧を維持していれば概ね健康は保てます。

④これを逸脱すると様々な健康不満が近寄って来ます。

⑤ガンは赤血球４７０万以下が続くと年齢を問わず発症し易く成ります。

⑥コロナは正確な情報が無いため予防限界値の正確判断は出来ませんが原核細胞で有る事からガンよりも低い４５０万以下に成ると感染リスクが高まると予測されます。簡単に言えば血中のミネラル＋水素の過剰不足によって赤血球数が減り低血圧状態に陥いると菌の殺傷力が低下するため感染率がアップすると言う事です。スポーツなど激しい活動後は概ねこの状態に陥ります。感染しても赤血球数が戻れば菌は抹消されるため大事には至りませんがそれなりに体力は低下します。１００％の復活は有り得ません。

⑦身近な症例が水泳・池江選手の白血病です。原因は過剰運動のためミネラル摂取量より消費量が勝った事で多くの赤血球が白血球へと変わった事です。

⑧統計によると日本成人男性の３０％強・女性の６０％強がこれより低いそうです。

## 2　胸式呼吸と腹式呼吸について

◆◆◆胸式呼吸

①お腹を凹ませて胸を押し上げながら息を吸い、吸い終えたら力を緩めて息を吐く。この繰返しが胸式呼吸です。

②パワフルな反面❶吸っても吐いてもお腹を凹ませ腹部血管を抑圧するため横隔膜以下組織の血液循環量が低下❷特に静脈は血管内に沢山の弁を持つため不要物蓄積による狭窄の進みも速く長い間には外見健康・内側ボロボロの特徴的健康状態が訪れる。

◆◆◆腹式呼吸

①声をア～～と出し続けるとヘソが大きく凹みます。この要領で背筋を伸ばしヘソを軽く凹ませながらゆっくり息を吐き、吐き終えたらヘソ凹みを軽く押し上げながらゆっくり息を吸います。この様にヘソの凹凸を繰返して息をするのが腹式呼吸です。

②ヘソは押し上げる事で周囲の血を膨らみに呼び込み、凹ます事でこれを送り出します。この繰返しで全身の血液循環量が増えて老化が遅れ、健康寿命が延びて行きます。

## 3　第二の心臓と言われる「ふくらはぎ＋足」の健康維持について

老いは足からと言われています。血液は静脈～右心臓～肺～左心臓～動脈の循環を繰り返し細胞が吸収可能な微小栄養物や原子レベルに分解されます。分解未達成で血液に残る栄養物の個別名を人間は蛋白質・糖質・脂質・免疫・抗体などと呼んでいます。これらが

血液に残り過ぎると❶軽いは最上部の脳内から❷重いは最下部の足指から順次に溜まって行きます。なぜなら静脈は沢山の弁を持つため溜り易い特徴を持つからです。この溜まり過ぎから起こるのが「頭痛」や足・ふくらはぎの「むくみや痛み」です。

①足・ふくらはぎに血液を含む組織液が溜まり過ぎると、その重さに押されて静脈の血液回収量が低下します。すると心臓は未回収の分だけ負担が軽く成るため血液をより高い圧力で送り出します。

②この影響を受け易いのが心臓の上に有って血液を高圧押上げから受け取る頭や脳（他は高圧押下げから受け取る）です。血液に加え活性酸素や希ガスの不要物が血管や組織内に溜まって膨らむ事で頭痛や発熱が起こります。この繰返しから脳神経が傷つき数が増える事で物忘れ～認知症へと進み、最悪時には血管破裂の危険も待ち受けます。これらを　防ぐには足・ふくらはぎの血液循環を高め過剰蓄積を防ぐ事です。

③その方法の一例をご紹介します。

❶椅子に腰を掛け、ふくらはぎ全体をゆっくり優しく揉みほぐします。

❷次に足指一本一本を優しくしっかりと揉みほぐします。

❸次に両膝を軽く伸ばしてかかとを着け両足指の曲げては伸ばすを繰返します。

❹次に両膝を曲げて手を乗せ軽く駈足を繰返します。

❺次に両膝を曲げて手を乗せ、かかとを着けたまゝ両足先の上げ下げを繰返します。

❻次に両膝を曲げて手を乗せ、足先を着けたまゝかかとの上げ下げを繰返します。

❼最後は両膝を曲げて手を乗せ膝の開く・戻すを繰返します。

④回数に決まりは無いので体力に合わせて繰返します。これに毛細血管を柔らげる長生き運動を加えると更に寿命が延びます。

## ８．赤血球の役割

①赤血球の役割は血液循環による摩擦熱で血液が持つ水Ｈ２ＯをＨＨＯに分解し、水素による核破壊から細胞や活動エネルギーを産み出す事です。このため赤血球の生産力減少に合わせ若さも健康も順次に衰えて行きます。

②加齢と共に赤血球数が減って行く最大原因は毛細血管の劣化閉塞数の増加です。

## ９．白血球について

①白血球は赤血球の残骸物から成るゴミの集りで血液１Ｌ当たり４８００個～６５００個と概ね赤血球数値に類似します。白血球は血液循環の摩擦熱で劣化縮小し呼吸や汗・尿を介して体外に排出されます。

②白血球は血中の水素量の不足が続くとゴミの処理力が低下するため赤血球の低下とは逆に低下度に合わせて増えて行きますが、いずれ赤血球の減少に合わせ共に減り続け終焉へと近づいて行きます。

# 応用編・・・ガンとコロナについて

## １．遺伝子（ＤＮＡ）について

①遺伝子は細胞が分裂をする為の「重り」の役割をしています。

②また遺伝子がつながる染色体の鎖は生物の種を問わず、リン酸・デオキシリボース・塩基・デオキシリボース・リン酸が連結した二重らせん構造の鎖で繋がり、一定の条件の基に二重らせんの鎖の一部が開き複製起点が生まれます。

③細胞は周囲に競合相手が居なければ全ての遺伝子を複製して分裂し、競合相手が居る時はその度合に応じて分裂スペースが狭く成るため複製遺伝子も減少します。

④従って生物の器官細胞は中心部が最も大きく末端部へ広がるほど小さく成ります。動物はこの仕組みで種に応じた姿・形・個性が決まって行きます。

⑤細胞は数が増え互いの競合が厳しく成ると分裂が制限され成長から老化へと向います。

⑥遺伝子治療とは特定細胞に遺伝子を加えて重量を増やし分裂力を高める事です。

## ２．ガン発症のしくみ・・・ガンは簡単に消し去る事が出来る

①活動力が低下した細胞は構成原子の粒子密着度が粗く成ります。この隙間から水素が核内に押し入り核を破壊します。この破壊エネルギーによって劣化細胞が消え去り、その後にすぐ上の細胞が子細胞を作って分列し新旧を入替えます。

②ところがミネラル＋水素の不足で赤血球の生産数が４７０万以下が続くと消える去るべき劣化細胞が生き残り意味不明の遺伝子を抱えて分裂を繰り返し増えて行きます。これがガンです。逆に劣化細胞が壊死して行くのがガン以外の病気で有り老化です。

③ガン細胞は正常な細胞より水素の核破壊に対する限界値が低いためこの弱点を突く事でガンが何所にどれだけ有ろうとも全てを一網打尽に消し去る事が出来ます。

④当開発の高機能ミネラル水＝WMWは一回１ｍｌ×１日２回・朝夕の食前に飲むだけで普通のガンで有れば１ヶ月以内に大きなガンでも２ヶ月以内には綺麗に消え去ります。

⑤そもそもガンの主要原因は毛細血管の衰えで、衰えの進みに併せて全身至る所に現われて来ます。よってガンよさようならの絶対条件は毛細血管の機能回復を図る事です。

## ３．熟成とは

①金属元素を含む多数原子から成る大きな集まりを長い年月を掛けて腸や舌が吸収し易い少数原子の集まりに作り変える事。

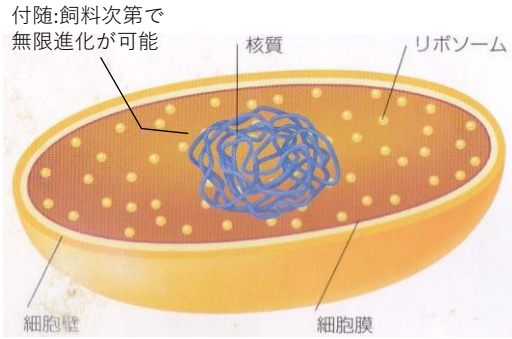
②特に植物細胞は動物の様な緻密性は無く高分子の肥料も容易に取り込みます。

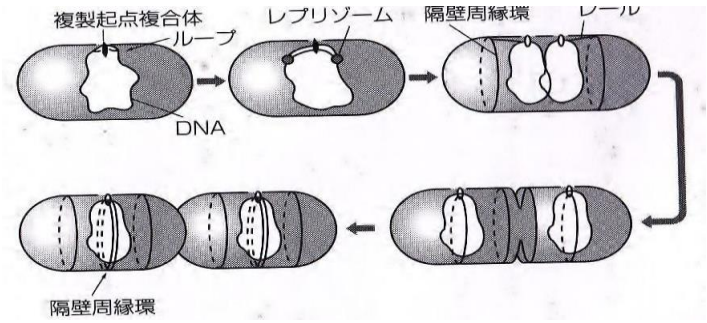
③これらを人の細胞が吸収し易い様に加工するのが「煮る・蒸す・熟成」の方法です。

④当然ながら熟成期間中は無収入のため完成品は高額と成ります。長期熟成のワインやウイスキーが超高額なのはこの為です。よって牛乳は母乳温度に温めて飲む方が、野菜は生より煮込んで食べる方が腸の吸収力が高まるため栄養効果もアップします。

## ４．原核細胞とコロナ菌について

原核細胞の構造（１９９９年ＮＨＫ出版書・人体第４巻より抜粋）




①誰もが知る原核細胞に「キノコ菌」が有ります。キノコ菌は菌糸なる根を持ち分裂成長しますが、根も口も持たないコロナ菌は棘を持ち、蚊の様に餌に刺しては毒を吐き、血を吸い繁殖を繰返します。赤血球４５０万以下状態に成ると感染リスクがアップか？

②当然ながら菌も生き物で有るため肥料を与えれば野菜・果物同様により大きく強く成長します。面白い事に人間はコロナ菌に来るな寄るなと言いながら実際にはワクチンと言う肥料を与えています。その成果が尽きる事の無い新型コロナ誕生の背景です。ちなみに新型コロナは進化増殖栄養が豊富と成るワクチン接種者＋感染者から誕生します。
ワクチンが更に怖いのは毛細血管に詰まって壊死閉塞させ健康寿命を縮める事です。

## ５．劇薬コロナワクチンの怖さ

①注射液とは腸が吸収できない高分子の薬液を強制的に体内に打ち込む手段です。このため静脈に取り込まれた高分子の薬液は肺圧や血管圧に押されて他の化合物と結合し更に大きく成って動脈毛細血管出口に詰まり、血液の流れを弱める事で役目を果たします。

②これらの詰まりは自然消滅するものと毛細血管を壊死閉塞させて流れを止めるものとが有り、止まる数が多いほど血の流れも悪く成るため健康寿命が縮んで行きます。

③コロナワクチンは度を越える高分子化合物のため１回目のワクチン液が残っているにも関わらず２回目を接種をすると詰まりの数が更に増え次の異常が起こります。

❶血液循環悪化で静脈の血・栄養・老廃物の回収量が低下する。

❷回収量低下で負担軽減した心臓は動きが楽になり血液をより高い圧力で送り出す。

❸結果、心臓上位の頭や腕の血管に血に加え活性酸素や希ガスの不要蓄積物が増える。

❹この不要物蓄積で血管が膨らみ頭や腕に痛みなどの副作用が起こる。

④この膨らみのため４週間×２回目で脳血管破裂で死ぬ人も、４週間×３回目では更に多くの人が、４週間×４回目では大半の人が死に至ります。この危険に気付いた開発者は急激な死者や重症者を抑えるため３回目、またそれ以降の接種は体内からワクチン液が完全に消え去り、更に低下した赤血球生産力の回復が期待できる８ヶ月後としている訳です。しかし実際は接種前には戻りませんし戻す手段も有りません。

⑤ワクチンの予防効果は毛細血管に詰まって高血圧状態を作り出す数日間で、その後は打てば打つほど毛細血管の壊死閉塞数を増やして行くため血液循環の低下～赤血球生産力の低下が順次に進み、老化を速め寿命を縮めて行きます。コロナ感染の多くがワクチン接種者が占めているのはこの為です。時には接種数日後の感染や死も起こります。

⑥また血圧が低い高齢者や持病持ち者へのワクチン接種は肺を更に劣化狭窄させて呼吸の質を大きく落とし菌の侵入数を激減させて重症化を防ぎますが、呼吸力の衰えに併せて生きる力も急速に衰えて行きます。早く消え去れ金食い虫よ。その意図の有無は存じません結果的には満たしています。このためうかつな反対は出来ません。

⑦実際にワクチンでコロナ好みに落ち込んだ体が再び元に戻る事は無いのでコロナとの鬼ごっこは死ぬまで続きます。また赤血球４７０万以下が続くと接種数年後には更に怖いガンが待ち受けます。ガンが確認可能な大きさに成長するには時間が掛かるからです。

　又、ワクチンはコロナに限らずあらゆるウイルスの進化増殖を助長します。遠からず新たな多種進化ウイルスが登場して来るのは確実でしょう。後戻りはできません。

⑧気を付けましょう瞼の下がり・・・赤血球数値が低いと不足度に応じて利目瞼（見るの中心と成る左右どちらかの目）の下がりに現われて来ます。例えばロシアの××氏・中国の××氏・アメリカの××氏は瞼眼相から推して共に右が利目で低赤血球＋健康不安有りと推定できます。こうした急激な瞼の下がりは放射性物質の多量吸引や高分子薬液の打ち過ぎ等で現われて来ます。瞼は遠く見ると上がり近くを見ると下がります。このため毛細血管の壊死閉塞数が増え血液循環の衰えに合わせて視力組織にも血液や不要物の蓄積量が増え、その重みで上下瞼が次第に垂れ下がって来ます。同時に脳神経の衰えも進むため衰退度に併せて思考力の低下・記憶力の低下・活動力の低下が進み、頑固や短気の身勝手行動が次第に目立って来ます。衰えの完治回復は望めませんがある運動によって進行を遅らせ働きを高める事が可能に成ります。その運動をぜひ御一考下さい。

## ６．朝～昼～晩の食事間隔は６時間を超え無い事

食事の役割は満腹感を満たす事では有りません。刻々と減り込む血中のネラル＋水素の量を健康維持レベルに戻す事です。一度の食事から得られるこれらの量は６時間が限度でこれを超えての活動は健康上良いとは言えません。感染リクスが急速に高まります。

①肺は呼吸によって細胞の膨らむ縮むを繰り返すために細胞間に隙間が生まれます。隙間は肺血管が抱える赤血球数と深く関係します。

②血中に赤血球が十分に満たされていれば肺細胞の膨張・収縮も活性化します。これに合わせて細胞間の隙間も狭く成るため如何なるウイルスも侵入が阻止されます。但し鼻とノドにはこうした防御機能が無いので菌が活発に飛び交う期間はマスクが必要です。

③逆に不足状態に成ると細胞の動きが落ち細胞間隔が広く成るため菌の侵入が容易に成ります。ウイルスにも好みの体がある事を理解しましょう。

④特にお酒好きの方は昼食後６時間を超えても酒に有りつくまで何も補いません。このためミネラル＋水素不足に陥りコロナ菌好みの体に成ってしまいます。お酒が悪いのでは無くて食事間隔が良くないのです。この代表格が短命職業の医師や看護婦さんです。

⑤「医者の不養生」は昔からのことわざ・「食事間隔のまずさ＋せっかち活動」を捕らえています。これに輪を掛けているのが劇薬ワクチンです。更に輪を掛けているのが夏の冷房・冬の暖房です。人の快適は菌にも快適、申し上げるまでも御座いません。

⑥コロナは食事間隔をほどほど守っていれば感染リスクは下がります。感染者の大きな特徴は「食事間隔がズボラか三食満たすお金が無い」のどちらかです。地球的には貧乏人が遥かに多く、特に成長中の子供が抱える親の貧乏は厳しくのし掛かります。この現実を忘れ無いで下さい。更に最近では物価高による学童給食材への影響も穏やかでは有りません。これが学童のコロナ感染者数を押し上げている事は言うまでも有りません。

## ７．日本には優れた天然ミネラル水が有る

日本は周囲を海に囲まれた細長い国です。このため自転と海の重さで海水が地下深くへ潜り込み、そこから押し上げられて湧き出て来るため十分に熟成された高品質のミネラル水が得られます。これを活用しない手は有りません。有益な活用を期待します。

## ８．簡単な自己紹介

①元サラリーマンで趣味が【元素原子と生物生命の関係についての研究】です。
植物は根から多種類の元素原子を取り込み水素の核破壊活用で必要物質を作り出す。動物はこれを食べ再び原子レベルに分解し新たな生命を作り出す。ならば食物に加えて直接ミネラルや水素を補えば何が望めるのか、この面白さに魅せられて１９９３年に本格研究に入りました。２００８年にはガン発症のメカニズム解明とガンを簡単に消し去るWM水開発を終えています。

②これらを世界に売り込み準備中に２０１１年３月に起きた地震による原発事故で製造設備に大量の放射性物質が流れ込み閉鎖と同時に自身も放射能重度障害と成り２度の死の危険に見舞われ人生の大半を失ってます。

③実際心臓には４箇所にチューブが入り、２０２０年１１月には脳神経大量損傷による認知症末期症末症にも関わらず大量の除去手術を受け運よく一命を取り留めています。
２０２１年１月に退院復帰、１年後には簡単な会話や読み書きが出来る様に成りましが手足を満足に動かす事が出来ない厳しい後遺症が残っています。それでも５年先の復活を目指し頑張っています。毛細血管が大量に壊死すると何が起こるのか、その具体例を自身の記録写真で紹介します。

２０１３年８月に放射性物質を大量吸引
意識の急速低下と心臓に激しい痛み発生
同日に手術可能な総合病院に転送される

13/08/27　15:57
NO.20832　0001

| | | |
|---|---|---|
| CRP | 0.1 | mg/dL |
| HCT | 40.9 | % |

13/08/27　15:54
ID 20832　0001
SAMPLE TYPE : Normal

| | | |
|---|---|---|
| WBC | 95H | $10^2$/uL |
| RBC | 424 | $10^4$/uL |
| HGB | 13.3 | g/dL |
| HCT | 40.9 | % |
| MCV | 96.5 | fL |
| MCH | 31.4 | pg |
| MCHC | 32.5 | g/dL |
| PLT | 25.2 | $10^4$/uL |

BML　生化学
350-68　95182・00

受付日／受付No.　'13/ 8/27 035-1223
氏名　ナカノ
カルテNo.　20832　男性
採取日　'13 年 8 月 27 日 時 分
診療科　外来
備考

| 項目名 | | 結果 |
|---|---|---|
| 総蛋白（TP） | TP | 6.4↓ |
| A/G比 | A/G | |
| アルブミン(Alb) | Alb | |
| A/G比 | A/G | |
| 蛋白分画 Alb | Alb | |
| α1 | α1 | |
| α2 | α2 | |
| β | β | |
| γ | γ | |
| 総ビリルビン | T-Bill | |
| 直接ビリルビン | D-Bill | |
| TTT | TTT | |
| ZTT | ZTT | |
| AST（GOT） | GOT | 113↑ |
| ALT（GPT） | GPT | 31 |
| γ-GT(γ-GTP) | γ-GT | 13 |
| ALP | ALP | 278 |
| LD（LDH） | LD | 405↑ |
| コリンエステラーゼ | CH-E | |
| LAP | LAP | |
| CK（CPK） | CK | |
| アミラーゼ | AMY | 36↓ |
| 総コレステロール | T-Cho | 241↑ |
| 中性脂肪 | T-G | 171↑ |
| HDL-Cho | HDL-C | 39↓ |
| LDL-Cho | LDL-C | 167↑ |
| β-リポ蛋白(β-Lipo) | β-Lp | |
| 尿素窒素(UN) | UN | 20.6↑ |
| クレアチニン | CREA | 0.94 |
| 尿酸 | UA | 5.7 |
| ナトリウム(Na) | Na | 143 |
| カリウム(K) | K | 3.9 |
| クロール(Cl) | Cl | 106 |
| カルシウム(Ca) | Ca | 9.1 |
| 無機リン(IP) | IP | |
| マグネシウム(Mg) | Mg | |
| 鉄(Fe) | Fe | |
| TIBC 比色 | TIBC | |
| UIBC 比色 | UIBC | |
| 血糖（空腹時） | BS | 98 |
| HbA1c(NGSP) | A1c | |

トロップT 陽性。

GFR 62.93 ml
II

同８月２７日に緊急手術を受ける

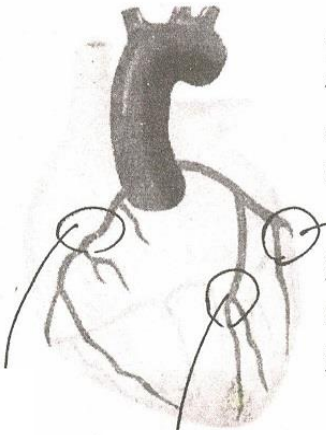


# 心臓カテーテル検査・治療に関する説明書

いわき市立総合磐城共立病院 循環器内科
担当医 高木 祐介

患者: 中野 様
診断: #1 陳旧性心筋梗塞 #2 冠動脈三枝病変 ほか

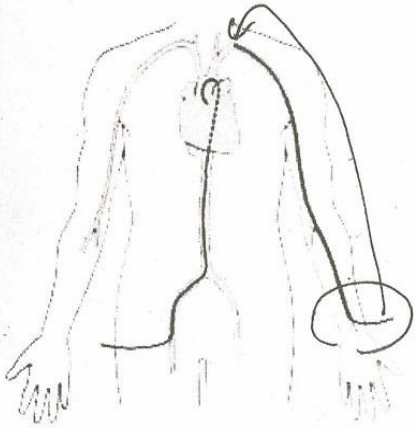
□心臓は、体中に血液を送るポンプの役割をしています.
そのために、3本の血管(冠動脈・かんどうみゃく)で栄養されています.



心臓は、全身に血液を絶え間なく送り続けているポンプです。
そのため、常に栄養補給を必要とします.
心臓の筋肉(心筋)を栄養する血管を**冠動脈(かんどうみゃく)**と呼びます.

冠動脈は**左冠動脈**と**右冠動脈**の2本の血管からなり、
さらに左冠動脈は**左前下行枝**と**回旋枝**に分かれます。
冠動脈は通常、3本の血管からなっています.

□心臓カテーテル検査により、血管(冠動脈)の異常(閉塞、狭窄)を見つけます



約2mm 程度の太さのカテーテルという管を
足の付け根または手首の動脈から心臓の冠動脈の入り口まで
挿入して特殊な薬剤(造影剤)で心臓の血管の流れをレントゲンに
撮る検査です。 麻酔は局所麻酔で行います。
この検査により、患者さんの冠動脈の病気を正確に診断し、
閉塞、狭窄している冠動脈の状態を把握することができます。

（参考１）写真は２０１３年８月１７日～１８日に放射性物質を多量吸引した６０日後の記録てす。原発事故による放射性物質拡散に伴う健康障害の軽重は線量の多少では無く高分子微粒子化金属数＋放射線量の多少で決まります。なぜなら風に乗って空気中を飛び交うこれらを吸い込むと喉～肺～心臓を介して全身の毛細血管に送られますが多くは毛細血管を通過できずに詰まってしまいます。問題は心臓の機能回復が増しても毛細血管の詰まりは解消しないため血管内に溜まり過ぎた血液の圧力で毛細血管の破裂が起こり周辺組織に内出血状態を作り出します。写真はこれを写しています。

簡単に言えばガンや多くの病気の芽は写真の様に毛細血管の血の流れが停滞し易い所から生まれ成長して行きますが写真の様な状態に陥ると体毛の多くは抜け落ち次第に厳しい痛みと苦しみが訪れます。私はこれを何年も繰り返したため壊死血管の塊が鳥肌状に成って全身の至る所に残っています。コロナワクチンは放射性物質ほど強くは有りませんが回数が増えれば理屈は同じです。特に心臓の真上に有って血液が高圧押上で届く脳組織に於いては更に厳しい悪影響が起こって来ます。これを自身の体験写真からご紹介します。

（参考２）写真は２０２０年１１月１０日に高分子微粒子化金属の多量吸引による認知症末期症状手術時の写真です。

Fig 1 体位.

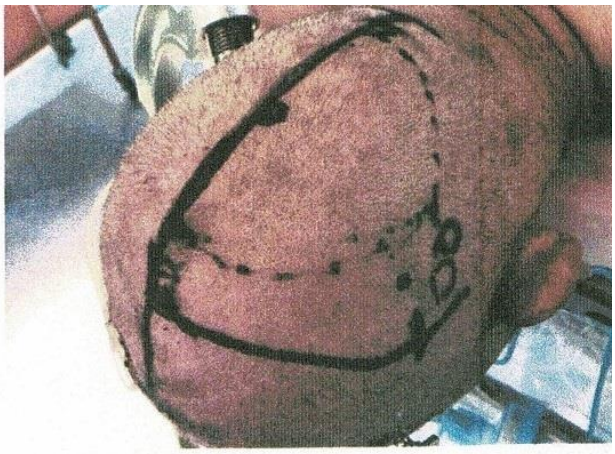


Fig 2 皮膚切開.

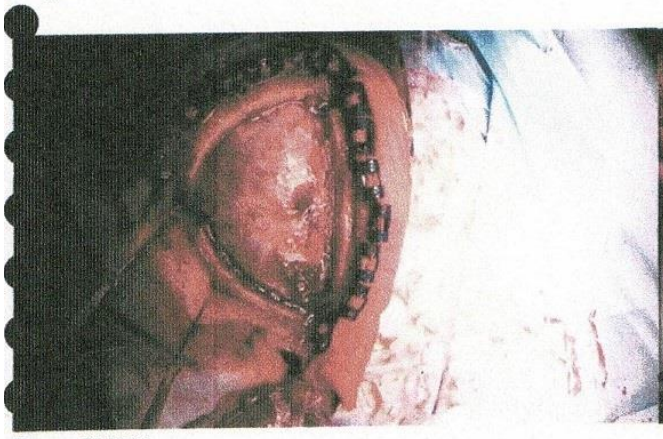


Fig 3 開頭後.

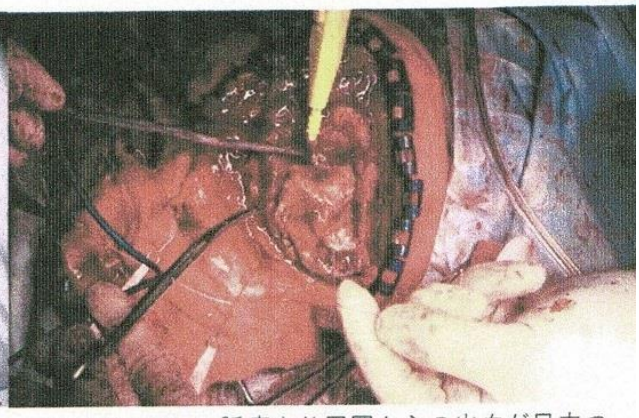


Fig 4 Debulking. 腫瘍より周囲からの出血が目立つ.

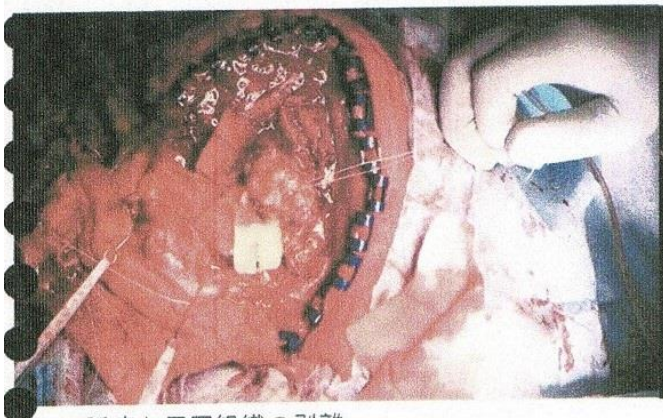


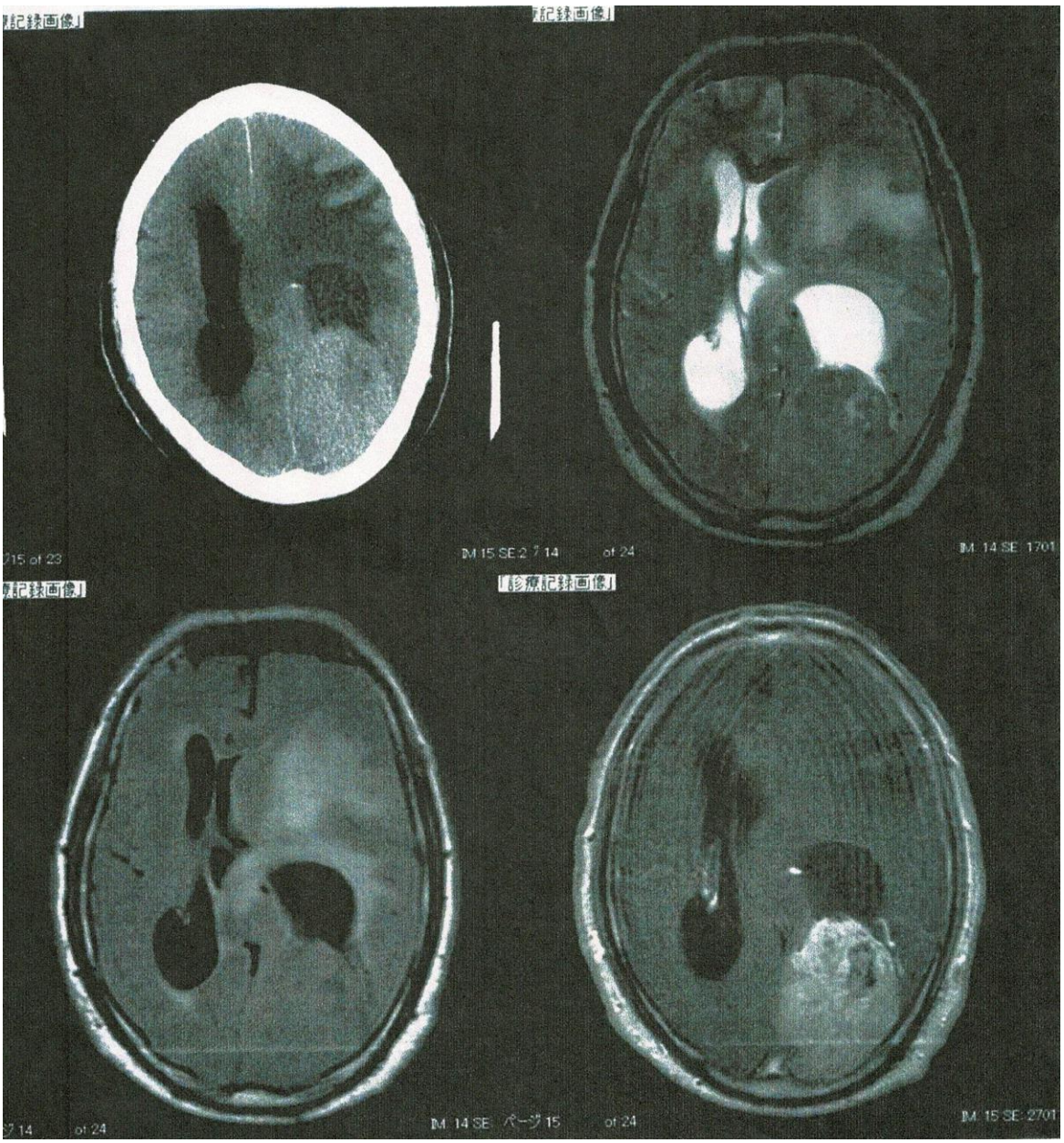
Fig 5 腫瘍と周囲組織の剥離.

Fig 6 摘出後.

Fig 7 自家硬膜の形成後.

Fig 8 Pericranial flapによる硬膜形成後.

（参考３）高分子微粒子化金属の多量吸引による認知症末期症状手術時の脳内写真です。




一般的に頭蓋骨で囲まれた脳組織の損傷には側副血行路や脳神経が伸び行くスペースが有りません。このため後遺症に苦しむか死に至るかのいずれかに分かれます。自身の場合は死が確実と言われながらも切除後のスペースに側副血行路と脳神経が伸びた事で厳しい後遺症が残っていますが、どうにか生きてはいます。そもそもおむつを要し会話も出来ない死を待つ寝たきり人間が復活に至るには手術以外にも大切な工夫が有ります。スポーツは筋肉の健康維持に必要な圧力を作って毛細血管を増やし有益に作用しますが過剰な圧力は逆に頭蓋骨で囲まれた脳をはじめ全身の毛細血管に有害な作用をもたらし老化を速めてしまいます。では共に有益に作用する圧力を得るには・・・この研究成果が今の私を支えています。私の体験から皆様に最も気を付けて頂きたいのが全身を網羅する毛細血管の健康維持です。この老化の進行が遅ければ遅いほど若く健康で長生きが望めます。いずれ何処かでお会いすることがあるかも知れませんが、その時にはよろしくお願い致します。